

平成29年度学校評価報告書

平成29年3月26日

北海道教育委員会教育長 様

北海道松前高等学校長 印

次のとおり平成29年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

昨年度の学校評価の結果を踏まえ、次の推進事項を重点目標とし、すべての生徒達の自己実現を図る学校づくりを進める。

- 1 基礎的・基本的な知識技能の確実な定着と学力の向上に向けた授業改善に取り組み、指導法・評価法の工夫を図る。
- 2 規律ある生活態度の定着と、自ら考え行動し、社会に主体的に対応できる力の育成を図る。
- 3 地域や小中学校と連携し、保護者・地域から信頼される、魅力ある学校づくりを図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	課題や小テスト等による基礎基本の定着を図りながら、生徒が主体的に参加できる授業の構築を図ることにより、授業に臨む姿勢の向上と学力の伸長が見られた。また、朝読書により読書習慣が身につけてきており、落ち着いた雰囲気の中で授業に臨むことができている。	先生方も工夫した授業を行い、生徒も良く参加していることから「概ね適切である」という評価を得た。この様子を一人でも多くの保護者に見てもらうための工夫をする。また、地域の教材や人材を生かし、開かれた教育課程のもと、実生活に生かせる学力の向上を図る。
改善方策	今後も主体的に行動できる人材を育成するため、研究授業や授業評価を活用し、授業改善に努める。同時に課題や小テストの実施、個別指導の充実により、基礎学力の定着を図り、一人ひとりの学力を伸ばす指導の充実を図る。	
生徒指導	年2回の教育相談週間により、生徒の話に耳を傾け、一人ひとりを大切にしている。また、生徒会を中心としたボランティア活動により、町民はもとより、観光客からもお褒めの言葉をいただいた。	「概ね適切である」という評価を得た。今後は挨拶・礼儀・身だしなみの生徒自身の評価がオールAになることを目標に努力させる。また、ボランティア活動は継続実施させ、学びの場とさせる。
改善方策	自ら積極的に活動できる生徒を育成するために、観光ボランティアをはじめとしたボランティア活動に積極的に参加させる。	
進路指導	進路シラバスに基づく指導と、スタディサプリを効果的に活用した進路学習について、試行錯誤を繰り返した。進路決定100%を実現したが、その検証を行い、次年度以降も100%実現に向けて計画を練る。	「概ね適切である」という評価を得た。進路決定100%は評価できる。また、一般受験による東京私大の合格は今後の励みになる。スタディサプリの効果的な活用について検討を重ねてほしい。
改善方策	1 間口完成年度に向けて、個別指導とスタディサプリの利用について効果的な活用方法を見つけ、進学のみならず、就職希望者の基礎学力の向上に努める。	
公表方法	Web ページ掲載	

3 添付資料

- (1) 平成29年度 年度末自己評価集計結果
- (2) 平成29年度 学校評価アンケート集計結果
- (3) 平成29年度 学校評価に係る学校関係者評価

平成29年度 学校評価に係る学校関係者評価用紙

北海道松前高等学校

自己評価結果に対する学校関係者評価 【A：充分である B：概ね充分である C：不十分である D：改善を要する】

分類領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校経営	確かな学力と豊かな心を育み、生徒一人一人の可能性を伸ばす教育を推進する。	B	B	○全教員が同じベクトルを向いて教育を推進するために、教員間の情報共有を確実に挙げる。 ○教職員の若さを生かし、生徒に寄り添いながら指導する体制を推進していく。 ○「松前学」「書道教育」「国際教育」の3本柱を中心とした魅力ある学校づくりの取組は地域から高い評価を受けており、これからもより一層の推進を行う。 ○書道部や生徒会を中心としたボランティア活動等により、地域との連携をこれからも推進していく。	A	A
	学校が一つのチームとして、生徒と教職員が一体となる活気ある学校づくりを推進する。	B	B			
	「松前学」「書道教育」「国際教育」を柱とした魅力ある学校づくりを推進する。	B	B			
	地域や他の機関と連携・協力し「学校が輝くことで地域が光る」学校づくりを推進する。	B	B			
評価者の意見等	観光ボランティアの評判はとてもよかった。今後も継続してもらいたい。良い教育活動ができていますので、もっとPR活動を行ったほうが良い。					
教育課程	総合選択制や少人数での授業など、生徒個々の進路実現や興味関心に応じた教育活動を実践する。	B	B	○教科選択の時期が早いので、生徒へも早め早めに指導を行っていく必要がある。 ○キャリア教育については、より良い方向へと改善する体制を整えるため、ファシリテーターの設置も考える。 ○「松前学」を中心とした教科横断型の授業を推進し、生徒の思考力・判断力・表現力を高める。 ○留学生の受け入れについては、更なる改善を行い、生徒も留学生も満足できる内容に深化させる。	A	A
	「松前学」を遠く地域について学ぶことで、ふるさとを愛しふるさとに誇りを持たせる教育を実践する。	B	B			
	書の町松前にある唯一の高校としての誇りと意欲を持たせる「書道教育」を実践する。	B	B			
	留学生の受け入れを中心とした「国際教育」により、広い視野と国際感覚を育む教育を実践する。	B	B			
評価者の意見等	書道教育、特に書道パフォーマンスについては素晴らしいものがあるので、ぜひ、全小中学生に見せたい。					
学習指導	習熟度別授業や個別指導などにより、基礎学力の定着を図る学習指導を推進する。	B	B	○今後、生徒のニーズと教育課程にずれが生じる可能性もあるため、常に見直しを欠かさない。 ○新学習指導要領の内容を吟味し、整合性のとれた教務内規と教育課程を編成する。 ○授業公開を行っているが、参観者が少ない。参観者を増やすための方策を検討する。	B	B
	一人ひとりの意欲と能力を伸ばし家庭学習を習慣化させるなど、自ら学ぶ力を育む学習指導を推進する。	B	B			
	松前の恵まれた地域の教材や人材を生かし実生活に生かせる学力の向上を図る。	B	B			
	シラバス（学習計画）を提示し、それに沿った学習活動を推進する。	B	B			
	授業公開や授業評価の実施などにより、授業規律や授業内容の向上のための工夫・改善を図る。	B	B			
評価者の意見等	先生方も工夫した授業を行い、生徒も良く参加している。生徒の様子や教室の雰囲気保護者にもぜひ見てほしい。					
生徒指導	一人ひとりを大切に、「生きる力」を育む教育を推進する。	B	B	○先を見据えた行動、考え方ができる生徒を育成するため、大局を見据えた指導を行う。 ○考える機会を多く設定し、自分を客観視できるようにさせていく。 ○身だしなみについてはその場その場での指導を徹底する。 ○行事のあり方について、1間口完成に向けて内容の変更も含めて生徒会に検討させる。	A	B
	挨拶・礼儀・身だしなみ指導や時間厳守など基本的な生活習慣の定着を図る。	B	B			
	学校行事や生徒会・部活動など、生徒の能力を伸ばし自主性を養う教育を推進する。	B	B			
	健康・安全教育や環境美化など、命や仲間を大切に、「豊かな心」を育む教育を推進する。	B	B			
	観光教育や地域へのボランティア活動など地域と協力し地域を愛する教育を推進する。	B	B			
評価者の意見等	身だしなみは昔と比べて随分良くなっている。あいさつも生徒の方からしてくれている。挨拶・礼儀・身だしなみの評価がすべてAになることを目標に、生徒に努力させたい。					
進路指導	早期から職業意識を育成し、就職・進学両方に対応する進路指導を推進する。	B	B	○進路指導の徹底をはかるためにもっと指導の時間を確保すべき。 ○スタディサプリについて利用状況を共有し、今後の取組方法について検討が必要である。 ○現状の学力を認識させ、模試の振り返り指導を充実させる。	A	A
	個々の適性・能力・希望に応じた進路選択を指導する。	B	B			
	就業体験など、地域の力を活用した進路指導を実践する。	B	B			
	学年、保護者との十分なコミュニケーションを形成する。	B	B			
	スタディサプリ、模擬試験などを利用した進学指導を充実させる。	B	B			
評価者の意見等	スタディサプリの効果的な利用方法について検討し、積極的に活用してほしい。進路決定100%は指導の成果です。卒業生のお話を聞く機会を増やすとよい。					
いじめの対応	学校として「いじめを許さない」姿勢が生徒に浸透させる。	B	B	○「いじめは許さない」という全職員の意識は生徒にも浸透している。さらに言葉づかいについて指導し、相手を思いやる気持ちの醸成に努める。 ○年に2回の教育相談週間を継続し、生徒理解に努め、日常的な情報交換、情報共有に努める。 ○常に最悪の状態を想定し、危機意識を持つことを忘れない。	B	B
	日頃から様々な場面で、生徒の様子や会話に注意を払い、いじめを見逃さないように努める。	B	B			
	生徒情報を共有するよう努め、その情報に応じて組織的に対応する。	B	B			
	生徒との面談や会話の機会をつくるよう努めたり、できることや得意なことを認めたりすることで、生徒の自己肯定感を高めるよう努める。	B	B			
	いじめを発見した時には、速やかに対応し、是々非々の姿勢で指導する。	B	B			
評価者の意見等	生徒は成長してきている。伝え続けられ受け止めることのできる生徒である。					
情報発信・地域連携	地域の人材や施設を活用した教育活動を充実させる。	B	B	○地域行事に積極的に参加するようにする。 ○書道部、生徒会、吹奏楽部等の地域参加が継続されている。学校開放講座（書道）も行っている。更なる拡充を図るよう努める。 ○学校通信の発行、ホームページの更新は行っているが、情報が伝わっているかは疑問である。更なるPR方法を考える必要がある。	B	B
	P T A 活動の充実を図る。	B	B			
	地域行事に関して生徒と教職員が積極的に参加交流する。	B	B			
	学校通信やホームページ、学校案内を更に充実させる。	B	B			
評価者の意見等	知ってもらう、見てもらうための工夫が必要である。もっとマスコミやメディアを使って、積極的にPRしてほしい。					
教員研修	資質能力を高める公開授業と研修を推進する。	B	B	○年2回の授業公開週間と研究授業を行い、その後の校内研修を行った。新学習指導要領の内容について理解を深める。 ○小中学校との連携をもっと積極的に行いたい。	B	B
	小中学校及び各所との連携で授業力を向上させる。	B	B			
評価者の意見等	生徒数確保のためにも、まずは中高の連携を深める努力をしてはどうか。					

平成29年度 学校評価（年度末自己評価） 集計結果

北海道松前高等学校

◇本校の教育活動について、次の項目ごとに評価をお願いします。

【評価】A(4)～充分である B(3)～概ね十分である C(2)～不十分である D(1)～改善を要する (*評価C・Dの場合、改善の方策を記入してください)

* () 内の数値で計算し、A=3.5~4.0、B=2.5~3.4、C=1.5~2.4、D=1.0~1.4 で評価する。

領域	No.	評価項目	達成状況			取組の適切さ				
			中間	昨年度	昨年度 中期	中間	昨年度	昨年度 中期		
学校経営	1	確かな学力を身につけ、豊かな心を育む教育を推進する。	B (3.0)	3.0	3.0	3.0	B (3.1)	3.1	3.1	3.1
	2	多くの体験活動を通して、キャリア教育を推進する。	B (3.1)	3.2	3.2	3.2	B (3.1)	3.3	3.3	3.1
	3	情報発信等を通して、家庭・地域社会との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。	B (3.0)	3.1	3.1	3.0	B (3.1)	3.0	3.2	3.1
	4	チームワークで組織の機能性を高め、教員個々の指導力を高め、学校力向上を推進する。	B (2.9)	2.8	3.1	3.0	B (2.8)	2.9	3.1	3.0
教育課程	1	生徒の興味、関心、適性に応じて、地域に根ざした身近なテーマを選び、実生活に生かせる学力の定着を図った教育課程を編成する。	B (3.1)	3.2	3.2	3.1	B (3.1)	3.2	3.2	3.3
	2	総合選択制を生かし、多様な進路の実現に応えられる教育課程を編成する。	B (3.0)	3.1	3.1	3.2	B (2.9)	3.1	3.2	3.1
	3	生徒の発達段階に応じた体系的なキャリア教育を編成する。	B (2.9)	3.1	3.0	3.0	B (2.9)	3.2	3.0	3.0
	4	自分の考えを伝える能力を育成し、互いに協調して行う活動をおし豊かな心を育てることを根拠として特別活動を編成する。	B (3.1)	3.1	3.0	3.1	B (2.9)	3.2	3.1	3.1
学習指導	1	授業改善を推進し、授業技術の向上を図る。	B (3.1)	3.1	3.2	3.1	B (3.1)	3.3	3.3	3.3
	2	授業規律の確立を図る。	B (3.1)	3.1	3.3	3.2	B (3.1)	3.1	3.3	3.3
	3	教務内規の見直しを図る。	B (2.9)	2.9	3.0	3.0	B (2.8)	3.1	3.1	2.9
	4	教育課程委員会と連携し、教育課程の検討を深化する。	B (2.9)	3.0	3.0	3.0	B (2.8)	2.9	3.2	2.9
	5	「朝の読書」を効果的に実施する。	B (3.1)	3.1	3.2	3.4	B (3.1)	3.2	3.2	3.4
生徒指導	1	生徒理解に努め、よりよい人間関係の育成を図り、生徒事故の未然防止に努める。	B (3.0)	3.1	3.2	3.1	B (3.0)	3.1	3.2	3.2
	2	校内・外において基本的な生活習慣の確立に努める。	B (3.1)	3.2	3.2	3.2	B (3.0)	3.2	3.2	3.2
	3	環境美化に対する意識の向上を図り、自ら実践する態度を育成する。	B (3.2)	2.9	3.4	3.2	B (3.1)	3.1	3.4	3.3
	4	自主的に健康管理できる人間の育成を図る。	B (3.1)	3.0	3.1	3.1	B (3.0)	3.1	3.3	3.1
	5	生徒一人一人が生徒会活動を理解し、積極的に活動できる環境作りと態度の育成を図る。	B (2.9)	3.1	3.1	3.0	B (2.9)	3.1	3.2	3.1
進路指導	1	早期からの職業意識を育成し、就職・進学両方に対応する進路指導を推進する。	B (3.1)	3.1	3.0	2.9	B (2.9)	3.1	3.1	2.9
	2	個々の適正・能力・希望に応じた進路選択を指導する。	B (3.1)	3.1	3.0	3.0	B (3.1)	3.1	3.2	3.0
	3	情報の効果的な収集・整理・提供を推進する。	B (3.0)	2.9	3.0	3.0	B (2.9)	3.0	2.9	3.0
	4	学年、保護者との十分なコミュニケーションを形成する。	B (3.0)	3.1	3.1	2.9	B (2.9)	3.1	3.0	2.9
	5	スタディサプリ、模擬試験などを利用した進路指導を充実させる。	B (2.8)	2.9	3.3	3.1	B (2.9)	2.9	3.3	3.1
いじめの対応	1	学校として「いじめを許さない」姿勢が生徒に浸透させる。	B (3.2)	3.1	3.3	3.3	B (3.3)	3.2	3.3	3.3
	2	日頃から様々な場面で、生徒の様子や会話に注意を払い、いじめを見逃さないよう努める。	B (3.0)	3.2	3.2	3.3	B (3.1)	3.2	3.3	3.4
	3	生徒情報を共有するよう努め、その情報に応じて組織的に対応する。	B (3.1)	3.1	3.2	3.4	B (3.1)	3.1	3.2	3.4
	4	生徒との面談や会話の機会をつくるよう努めたり、できることや得意なことを認めたりすることで、生徒の自己肯定感を高めるよう努める。	B (3.1)	3.2	3.3	3.4	B (3.1)	3.3	3.3	3.5
	5	いじめを発見した時には、速やかに対応し、是々非々の姿勢で指導する。	B (3.1)	3.2	3.3	3.4	B (3.1)	3.3	3.4	3.4
地域連携 情報発信	1	地域の人材や施設を活用した教育活動を充実させる。	B (3.2)	3.3	3.4	3.5	B (3.3)	3.3	3.4	3.6
	2	P T A活動の充実を図る。	B (3.0)	3.1	3.2	3.2	B (3.0)	3.0	3.3	3.2
	3	地域行事に関して生徒と教職員が積極的に参加交流する。	B (2.8)	3.2	3.2	3.1	B (2.9)	3.1	3.2	3.2
	4	学校通信やホームページ、学校案内を更に充実させる。	B (3.2)	3.3	3.2	3.2	B (3.3)	3.3	3.2	3.2
教員研修	1	資質能力を高める公開授業と研修を推進する。	B (3.1)	3.2	3.3	3.1	B (3.2)	3.3	3.4	3.1
	2	小中学校及び各所との連携で授業力を向上させる。	B (2.9)	3.0	3.0	3.0	B (2.9)	3.1	3.1	2.9

平成29年度 学校評価アンケート【地域・保護者・生徒】

北海道松前高等学校

◇本校の教育活動について、次の項目ごとに評価をお願いします。

〔評価〕 A～できている B～ある程度できている C～どちらともいえない D～ややできていない E～不十分である /～わからない
A:5 B:4 C:3 D:2 E:1 /:計算に加えない

平均 A:4.5~B:3.5~C:2.5~D:1.5~E:~1.4

領域	No.	評価項目	地域 (昨年度)		保護者 (昨年度)		生徒 (昨年度)	
学校経営	1	確かな学力と豊かな心を育み、生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育がされたと思いますか。	B	4.3 (4.3)	B	4.0 (3.9)	B	4 (3.9)
	2	学校が一つのチームとして、生徒と教職員が一体となる活気ある学校づくりがされたと思いますか。	A	4.5 (4.4)	B	3.8 (4.0)	B	3.9 (4.0)
	3	「松前学」「書道教育」「国際教育」を柱とした魅力ある学校づくりがされたと思いますか。	A	4.5 (4.6)	B	4.2 (4.2)	B	4.3 (4.3)
	4	地域や他の機関と連携・協力し「学校が輝くことで地域が光る」学校づくりがされたと思いますか。	B	4.3 (4.4)	B	3.7 (3.8)	B	3.9 (3.8)
教育課程	1	総合選択制や少人数での授業など、生徒個々の進路実現や興味関心に応じた教育活動が実践されたと思いますか。	B	4.2 (4.0)	B	4.0 (4.0)	B	4.1 (4.1)
	2	「松前学」を通し地域について学ぶことで、ふるさとを愛しふるさにと誇りを持たせる教育がされたと思いますか。	B	4.2 (4.3)	B	4.1 (4.1)	B	4.2 (4.1)
	3	書の町松前にある唯一の高校としての誇りと意欲を持たせる「書道教育」が実践されたと思いますか。	A	4.7 (4.6)	B	4.3 (4.1)	B	4.3 (4.2)
	4	留学生の受入を中心とした「国際教育」により、広い視野と国際感覚を育む教育がされたと思いますか。	B	4.0 (4.3)	B	4.1 (3.7)	B	4.3 (4.1)
学習指導	1	習熟度別授業や個別指導などにより、基礎学力の定着を図る学習指導がされたと思いますか。	B	4.0 (4.1)	B	3.9 (3.9)	B	3.9 (3.9)
	2	一人ひとりの意欲と能力を伸ばし家庭学習を習慣化させるなど、自ら学ぶ力を育む学習指導がされたと思いますか。	B	4.0 (4.1)	B	3.8 (3.7)	B	3.9 (3.7)
	3	松前の恵まれた地域の教材や人材を生かし実生活に生かせる学力の向上がなされたと思いますか。	B	4.1 (4.1)	B	3.8 (3.8)	B	4.1 (3.8)
	4	シラバス(学習計画)が提示され、それに沿った学習活動がされたと思いますか。	B	4.1 (4.0)	B	3.9 (3.8)	B	4.2 (4.0)
	5	授業公開や授業評価の実施などにより、授業規律や授業内容の向上のため工夫・改善が図られたと思いますか。	A	4.7 (4.3)	B	3.9 (3.7)	B	4.1 (4.0)
生徒指導	1	一人ひとりを大切に、豊かな心と健やかな体を育む教育がされたと思いますか。	B	4.4 (3.9)	B	3.9 (4.0)	B	3.9 (4.0)
	2	挨拶・礼儀・身だしなみ指導や時間厳守など基本的生活習慣を定着させる教育がされたと思いますか。	B	4.0 (4.0)	B	3.9 (4.2)	B	4.2 (4.2)
	3	学校行事や生徒会・部活動など、生徒の能力を伸ばし自主性を養う教育がされたと思いますか。	B	4.1 (3.8)	B	3.9 (4.1)	B	4.1 (4.1)
	4	健康・安全教育や環境美化など、命や仲間を大切に「豊かな心」を育む教育がされたと思いますか。	A	4.5 (3.8)	B	4.0 (4.0)	B	4.1 (4.1)
	5	観光教育や地域へのボランティア活動など地域と協力し地域を愛する教育がされたと思いますか。	A	4.6 (4.1)	B	3.9 (4.1)	B	4.1 (4.1)
進路指導	1	早期からの職業意識の育成や適切な進路選択、及び就職・進学両方に対応する進路指導がされたと思いますか。	B	4.2 (3.9)	B	4.1 (4.1)	B	4.3 (4.2)
	2	体験学習や学校見学会などにより、他の機関と連携した進路指導が実践されたと思いますか。	B	4.4 (3.9)	B	3.9 (4.0)	B	4.2 (4.0)
	3	就業体験や説明会など、地域の力を活用した進路指導が実践されたと思いますか。	B	4.3 (4.3)	B	4.0 (4.1)	B	4.2 (4.2)
	4	保護者との連携・連絡や進路情報の提供、及び進路説明会や進路面談等が効果的に実施されたと思いますか。	B	4.3 (3.9)	B	3.9 (4.0)	B	4.2 (4.0)
	5	模擬試験や資格試験、さらには進路講習など進路実現に向けた実践的取り組みがされたと思いますか。	B	4.3 (4.1)	B	4.0 (4.1)	B	4.2 (4.3)
いじめの対応	1	「いじめを許さない」姿勢が生徒に浸透し、いじめを見逃さないよう努めていたと思いますか。	B	4.3 (4.0)	B	4.1 (3.9)	B	4.1 (4.1)
	2	いじめを発見した時には、速やかに対応し、いじめを許さない姿勢で指導ができていたと思いますか。	B	4.4 (4.0)	B	4.0 (3.7)	B	4.1 (4.1)
	3	生徒との面談や会話の機会を通して、できることや得意なことを認め、自己肯定感を高めるよう取り組んでいたと思いますか。	B	4.3 (4.0)	B	4.0 (3.9)	B	4.2 (4.1)
地域連携情報発信	1	PTA組織と連携・協力し、PTA活動の充実を図ることができたと思いますか。	B	4.4 (4.1)	B	3.9 (4.0)	B	4 (4.0)
	2	松前町や同窓会をはじめ地域を支える多くの方々と連携・協力し、地域に密着した教育が行われたと思いますか。	B	4.4 (4.2)	B	3.8 (3.9)	B	4 (4.0)
	3	電話連絡や家庭訪問・面談等、保護者と学校の連絡・連携がとられていたと思いますか。	B	4.3 (3.6)	B	3.9 (4.0)	B	4.1 (4.1)
	4	学校行事や各種報告会・発表会の公開、又は地域行事への参加を通して地域との交流が図られたと思いますか。	A	4.5 (4.5)	B	3.9 (4.0)	B	4.1 (4.0)
	5	各種報道や学校通信・ホームページなど本校の教育活動の様子について情報発信がされていたと思いますか。	B	4.1 (4.2)	B	3.9 (3.8)	B	4 (4.0)

4.3 (4.1) 4.0 (4.0) 3.9 (3.9)

回収率 62.5 % 98.9 % 98.9 %